



介護の現場から



私の親は団塊の世代で、友人の親も大体同じような年齢の人が多
い。今までは友人同士集まって子育てや、仕事の話をしていたが、
ここ最近では親の介護や、自分たちの体調の事、老後の事について話
す事が多くなった。自分も含め、友人も親の介護について悩む事が
増えてきている。私の父は現在75歳で認知症を患っている。73
歳まで自営業を営んでいたが物忘れや、出来ないことが増えてきて、
病院に行き認知症の診断を受けて引退となった。今思えば引退する1
年程前から「大丈夫かな？」と思うことは度々あった。もっと早い
段階で病院に連れて行けば良かった、と後悔もあるが元々よく冗談
を言う父だったので、何が本当で、何が冗談か解らず発見が遅れた
ように思う。今も昔も、私が家に遊びに行くと「どちらさんですか
〜？」と言う。本人はいつも通りの冗談を言っているつもりだが、
それを聞くたびに「いよいよか…」とドキドキする。母も始めの頃
は「何回も言ってるのに！」と父に怒っていたが、病気なので仕方
ない。一番つらいのは本人である事、ストレスを与えない方がいい
事、等を伝えた。この先どうなっていくのか、なんとなくではある
が解るので、今のうちに出来る親孝行はしておきたいと思っている。

(なずなケアプランセンター：Yケアマネージャー)

